ポスト・コロナ社会における地域保健 DX

~データ活用と連携の課題と可能性~

地域ケア開発研究所

ましの そのえ ほんだ じゅんこ ふじた ○教授 増野 園惠、教授 本田 順子、研究員 藤田さやか あさくま ひろみ はやし ちさと 研究員 朝熊 裕美、教授 林 知里

キーワード

地域保健、DX、データ活用、データ連携



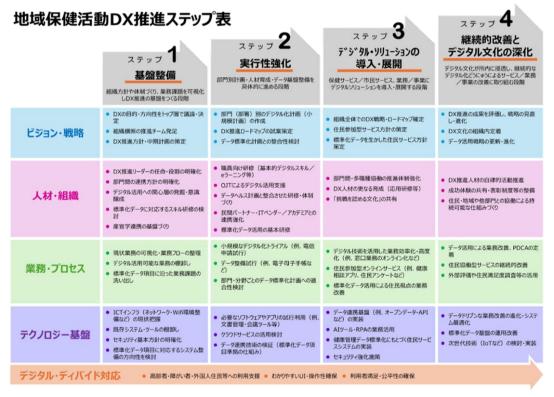




研究概要

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応を通じ、地域保健における情報連携の遅れや業務負担の深刻化が明らかとなり、保健所・保健センターにおけるデジタル化の遅れが課題として浮上した。本研究では、保健分野の DX (デジタル・トランスフォーメ

ーション)推進を支援するため、全国調査・ヒアリング等多面的な調査を実施し、現場の課題や成功要因を抽出した。これらの知見をもとに、自治体が段階的に取組を進められるよう「地域保健における DX 推進ステップ表(4 段階構成)」を作成した。本ステップ表は、ビジョンや体制整備、人材育成、デジタルツール導入、市民参加、継続的改善などを包括的に位置づけた実践的な枠組みである。



アピール

本研究の特徴は、保健所や市町村保健センターが直面する現場の課題を出発点とし、理論と実態を統合した実践的な「DX推進ステップ表」を開発した点にある。単なるICT導入にとどまらず、リーダーシップ、組織文化、住民参加なども含めた包括的な変革の

道筋を示しており、自治体が自らの現在地を把握しながら、段階的に取組を進めるための有効な指針となることが期待される。

本研究は、厚生労働行政推進調査事業費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)(23LA2001)を受けて実施しました。